

火災が多発しています 火災予防や被害軽減のため日ごろから注意を

今年1月～2月で13件の火災が発生しています。日ごろから火災を起こさないよう十分注意し、近隣住民と協力体制をつくり、火災予防を心がけましょう。

火の取り扱いには
ご注意ください



いのちを守る 6つのポイント

- 1 寝たばこは絶対にしない
- 2 ストープは燃えやすいものから離す
- 3 こんろから離れるときは必ず火を消す
- 4 コンセントのほこりは清掃し、使わないプラグは抜く
- 5 逃げ遅れを防ぐために、『住宅用火災警報器』を設置する
- 6 被害を軽減するために、消火器を設置する



消防署からのお願い

- 1 火災を発見、または消火した後でも、必ず119番通報を
- 2 原則、野焼きやごみの焼却は禁止
- 3 左義長や焼き畑などを行う場合は、事前に消防署へ届け出を、焼却中はその場を離れず、必ず水バケツなどを準備する



お問い合わせ／消防局消防署
(TEL918-5273 FAX918-5984)

文化国際創生財団からのお知らせ

文化国際創生財団(東仲ノ町6-1アスピア明石北館7階)
TEL918-5085 FAX918-5121 event@accf.or.jp

A 文化芸術振興事業助成

市内で実施する①文化芸術活動を広く市民に公表する事業、または②18歳以下の子どもたちを対象に実施する文化芸術活動の体験事業、鑑賞事業、育成事業について、経費の一部を助成します。(最大10万円)



B 国際交流事業助成

市内で実施する国際交流や多文化共生の社会づくりに寄与する団体の活動について、経費の一部を助成します。(年間を通じた事業は最大6万円、その他の事業は3万円を上限とします)



明石の恵みいただきま〜す 特別献立「あかしを食べよう」

3月の初めに市内の小・中学校給食で、明石海峡でとれたタイやノリを使った特別献立、「あかしを食べよう」が登場しました。



タイの塩焼き、明石しろな入りすき焼きなど明石ならではの中学校給食

明石のおいしい恵みに感謝し、1年を振り返りながら過ごす楽しいランチタイム。児童・生徒の皆さんは「特別献立を楽しみにしていた」や「地元の素材がいっぱいでうれしかった」などと話してくれました。



タイの天ぷらやノリなどながら小学校給食

春の訪れを告げる

3月1日 イカナゴシンコ漁 解禁



平年よりも少ないながら水揚げされたシンコは、新鮮なうちに市内の小売店などへ出荷されました。

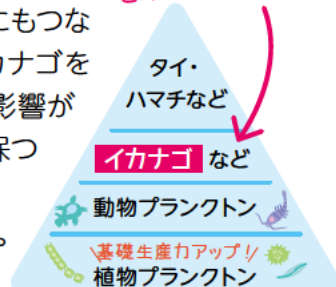
魚の棚商店街では、朝早くから買い物客が並び、シンコを購入した親子は、「10年くらい毎年炊いています。子どものころから親しんだ味を、息子にも伝えていきたいですね。」と笑顔で話してくれました。



イカナゴを守って

海の栄養分が減少すると、エサとなるプランクトンが減り、イカナゴの減少にもつながります。そしてイカナゴを食べる大きな魚にも影響が出ます。豊かな海を保つために、イカナゴを守ることも必要です。

豊かな海の幸のためにも大事な役割を果たしています



明石焼(玉子焼)が文化庁「100年フード」に認定されました



地域で受け継がれ食されてきた食文化を継承する「100年フード」に明石焼(玉子焼)が認定されました。



明石が誇る食文化「明石焼」の魅力をこれからも発信していきます。

100年フードって?

地域において、風土や歴史の中で個性を活かしながら創意工夫され、世代を超えて受け継がれ、食されてきた地域特有の食文化

天文科学館がウクライナ国旗カラーに



ウクライナに一刻も早く平和が訪れるよう祈りを込めて、日没から午後9時までウクライナ国旗のイメージである青色と黄色の光でライティングしました。



いろいろな方法で広報紙をお届けしています

アプリ配信 スマートフォン用無料アプリ「マチイロ」より手軽に多くの皆さんに閲覧していただけるよう、スマートフォン用無料アプリ「マチイロ」で配信しています。市の最新情報がマチイロアプリ1つで丸わかり!

① QRコードからマチイロアプリをダウンロードする

登録方法



Android版はこちら



iOS版はこちら

② 「お住まいの地域」を「明石市」に設定する

新聞を取っていない人はポスティングサービス

新聞をとっていない世帯には無料のポスティングサービスを行っています。申し込みフォーム(右のQRコードから接続可)か、広報課へお電話を。



視覚障害者の人は 視覚障害者の人向け点字版・音訳版 広報あかしの内容を抜粋し点字版・音訳版を発行、郵送でお届けしています。希望の人は広報課へお電話を。

お問い合わせ／広報課(TEL918-5001 FAX918-5101)